

平成30年度 JATE セミナーの開催模様

平成30年11月8日（木曜日）、主婦会館プラザエフ（千代田区）において、賛助会員の皆様を対象に、本年度のJATEセミナーを開催致しました。

近年、いわゆるIoTに関わるダイナミックな動きは加速しており、本格導入を見据えた動きも活発化しています。かたや、セキュリティに代表される解決すべき諸々の課題も顕在化しているところです。そのような状況のもと、IoTの第一人者でありこの分野を長年牽引していらっしゃる、北陸先端科学技術大学院大学の丹教授をお招きし、ご講演を頂きました。

ご講演は「IoTの歴史的意義と現在の課題」と題して行われ、前半の「IoTとは何であって、何でないか」のパートでは、

・今、人類がIoTと呼んでいるものは単に一時的にインターネット直結のモノが増えたということではなく、過去の情報システムの発展の経緯を受け、必然的に出現してきた新しい情報基盤のことであり、これを起点に更に加速度をつけて新たな情報システムの実現に向けた発展が進み、人類の生活を大きく変えようとしているものである。ことを踏まえつつ

・IoTとはそもそも何であって、どのようにそれが出現するに至ったか、また、不幸にも我が国が震災に苦しんでいる間に、国際的にはどれくらい概念整理が進み国際標準化が行われているかについてお話を頂きました。

後半の「本来のIoT実現を阻害しているのは何か」のパートでは

・前半で紹介した本来のIoTの出現を多くの課題が阻んでいる状況にあり、それは必ずしも技術的な課題とは限らず、人間の思惑で作られる法律等も含めた様々なものがあるが、我々技術屋が解決できるものだけでも極めて多岐にわたる。ことを踏まえ

・それぞれの課題について概観した後、特に、プライバシー、セキュリティ、セイフティ、ネットワークを經由したシステムの実現方法、などについて、スマートホームなどの具体例を交えてとりあげ、お話して頂きました。

ご講演後に実施した皆様からのアンケートでは、

- ・IoTに関する定義、歴史、標準化、実際の応用等、体系的な整理が明確になった。
- ・今後のIoTビジネスの進め方についてAI等データの蓄積と活用とクラウドの流通が重要である事がわかった。
- ・広く事業を見渡された上でお話を頂いて現状を良く理解できた。
また話が判りやすく具体例を交えて頂いてとても良かった。
- ・IoTの現場で戦うべきステージ、諦めるべきステージが明らかになった気がした。



北陸先端科学技術大学院大学 丹 康雄 教授

- ・IoTの現状をきちんとみている集団が日本にもあることがわかり少し安心した。
- ・日本の置かれている現状と今後の展望について説明して頂き大変参考になった。

等、多くのご意見が寄せられております。

大変ボリュームの多い且つ多岐にわたる内容でありながら、明瞭にわかりやすくお話していただき、2時間半にわたるご講演でしたが、参加者の皆様も終始集中してじっくり聞き入っていらっしゃったことが印象的でした。

当協会では、賛助会員の皆様から頂いたご感想・ご意見を参考にさせていただき、今後のセミナー開催に反映させてまいる所存です。

なお、賛助会員の皆様には、賛助会員専用ページにて講演資料をご覧いただけます。